

# 千葉県社保協通信

2016年度 — No8 2016年11月18日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉セカビル 3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール [syaho2006@star.ocn.ne.jp](mailto:syaho2006@star.ocn.ne.jp)



## 11.11 介護・認知症

県内から22件

## なんでも電話相談に相次ぐ不安の声

今年の「介護・認知症なんでも電話相談」は11月11日「いい介護の日」に実施しました。昨年に引き続き、「認知症の人と家族の会千葉県支部」の協力を得て相談にあたりました。

NHKの1時の全国ニュースで報道され、午後は2台の電話に絶え間なく相談が寄せられました。

寄せられた22件の相談者は、本人が4人、家族15人、知人その他3人です。約半数が70歳以上で、認知症の相談が12件。高齢者の運転による車の事故の影響もあり、認知症の方を介護している家族は不安を訴えています。日常の介護そのもの大変さ、聞いてくれる人がいない、財産管理・遺言のこと、施設の介護のあり方、家事や育児との両立など様々な不安や悩みを抱え、介護者が追いつめられていることがわかります。介護保険が始まって17年目を迎えますが、まだまだ介護方法、サービスの利用の仕方などの相談が寄せられています。ケアマネジャーや地域包括支援センターなど日常的な相談支援者はいても、本人や家族は、第三者的な助言を求めていると思われる、年1回ですが電話相談の開催の意義があります。

千葉県民医連加藤久美事務局長は「ケアマネジャー、行政機関、地域包括支援センターなど対応する窓口、家族会など相談できる場所はあるが、支援体制機能も含めたワンストップの相談窓口の機能強化が求められているのではないのでしょうか」「認知症への理解が社会全体に広がっていくことも重要です」と話しています。

### 千葉市・介護保障の充実をめざす実行委員会

## 総合事業と'18年介護保険法『改正』で講演と交流会 開く

千葉市社保協、千葉市介護をよくする会、市内介護事業所などでつくる実行委員会が11月6日に千葉市内で開催した講演と交流会には43人が参加しました。

加藤久美さん（県社保協介護部会責任者・県民医連事務局長）が介護保険の16年を振り返りながら「動き出す総合事業と2018年介護保険法改正」のテーマで講演しました。その後参加者はグループごとに分かれ、介護現場の状況などを交流し合いました。

参加者からは「千葉市は2018年4月から総合事業が開始されるため、タイムリーな企画で分かりやすかった」など感想が出されました。



### —11.16 中央社保協国会行動—

だれもお金の心配なく

必要な医療・介護を受けられるように

千葉県の国会議員30人に要請

TPP批准阻止国会座り込み行動真只中の16日、千葉県社保協は、鈴木会長を先頭に民医連8人、千葉土建3人、流山社保協1人、県社保協1人計13人で、衆参30人の国会議員に「安全・安心の医療・介護の実現を求める」要請を行いました。

鈴木会長らが訪問した青木愛参院議員(自由党)は、民医連職員の介護現場の訴えを聴き、積極的に検討することを約束。

共同の力で頑張りたいと話しました。

昼休み国会前集会の後の院内集会では、共産党倉林明子参院議員が国会報告。署名を託しました。 ⇒

